

日付： 2006年3月17日

提出元： ソフトバンクBB

題名： JJ-100.01 4版制定に向けての検討課題と弊社の考え方

**まえがき**

本寄書は FTTR 形態 xDSL システムに関するスペクトル管理標準を速やかに JJ-100.01 に盛り込むため、以下に検討課題をまとめた。今後 TTC での第 4 版への改定検討は以下に沿って進めることを提案する。

**1. 第 4 版における FTTR 関連の検討課題の整理と進め方**

課題	局設置システムの スペクトル管理方法	FTTR 形態システムの スペクトル管理方法
計算方法	・ 第 3 版通り	・ 第 3 版の計算式の換算線路長に L, M の値を利用して計算し、M 値最悪値での L 値を算出。
計算範囲 (周波数)	・ 第 3 版通り (1.1MHz 以下)	・ 対局設置システム：2.2MHz までか？ ・ FTTR システム間：30MHz までか？
保護基準	・ 第 3 版通り	・ 対局設置システム 第 3 版通り G992.1 Annex I を含めるか？ ・ FTTR システム間スペクトル管理の考え方は？ (別紙参照 02) ・ FTTR 間の保護基準値は？
クラス分け	・ 第 3 版通り	・ FTTR 形態システム向けに新たなクラスわけの概念を設けるか？ ・ 逆線路長制限の概念を設けるか？
JJ100-01 への変更事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ FTTR 形態も標準対象とするよう、以下の章の記述を変更</li> <li>3. 標準の目的</li> <li>4. 参照モデル</li> <li>H. ユーザビル設置 VDSL と局設置 ADSL/VDSL の相互干渉の緩和手段について</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FTTR 形態に関するスペクトル管理手順を 章として追加するか？</li> </ul>	

## 2. 第4版における FTTR 関連の検討課題への弊社の考え

課題	局設置システムの スペクトル管理方法	FTTR 形態システムの スペクトル管理方法
計算方法	・ 第3版通り	・ 第3版の計算式の換算線路長に L, M の値を利用して計算し、M 値最悪値での L 値を算出。
計算範囲 (周波数)	・ 第3版通り (1.1MHz 以下)	・ 対局設置システム：1.1MHz まで ・ FTTR システム間：30MHz まで
保護基準	・ 第3版通り	・ 対局設置システム 第3版通り ・ FTTR システム間スペクトル管理は別紙の考え方を用い、 <u>接続点</u> 毎にバンドプランおよび PSD Mask で管理
クラス分け	・ 第3版通り	・ 第3版通り。ただし、逆線路長制限の概念を設ける。
JJ100-01 への 変更事項	<p>・ FTTR 形態も標準対象とするよう、以下の節の記述を変更</p> <p>3. 標準の目的</p> <p>4. 参照モデル</p> <p>H. ユーザビル設置 VDSL と局設置 ADSL/VDSL の相互干渉の緩和手段について</p> <p>整合性を取るために第3版の上記の章の一部を修正し、FTTR 形態に関するスペクトル管理手順を1章として追加する。</p>	

以上